

【表紙】

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 東海財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年7月12日 |
| 【四半期会計期間】 | 第59期第2四半期（自平成24年3月1日至平成24年5月31日） |
| 【会社名】 | アスカ株式会社 |
| 【英訳名】 | ASKA CORPORATION |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役社長 杉本 篤哉 |
| 【本店の所在の場所】 | 愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地 |
| 【電話番号】 | 0566(36)7771(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役 総務・経理・経営管理担当 竹之内 敏昭 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地 |
| 【電話番号】 | 0566(36)7771(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役 総務・経理・経営管理担当 竹之内 敏昭 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第58期 第2四半期連結 累計期間 | 第59期 第2四半期連結 累計期間 | 第58期 |
|--|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年 12月1日 至平成23年 5月31日 | 自平成23年 12月1日 至平成24年 5月31日 | 自平成22年 12月1日 至平成23年 11月30日 |
| 売上高(千円) | 7,314,146 | 10,227,622 | 16,228,922 |
| 経常利益(千円) | 22,074 | 275,554 | 187,097 |
| 四半期(当期)純利益又は四半期純損失()(千円) | 14,105 | 90,146 | 73,876 |
| 四半期包括利益又は包括利益(千円) | 76,925 | 129,428 | 17,070 |
| 純資産額(千円) | 4,168,573 | 4,374,869 | 4,262,569 |
| 総資産額(千円) | 15,236,537 | 17,191,744 | 15,850,199 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金額 ()(円) | 2.47 | 15.79 | 12.94 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 27.4 | 25.4 | 26.9 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー(千円) | 216,052 | 813,766 | 1,029,135 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー(千円) | 215,677 | 876,385 | 599,608 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー(千円) | 1,695 | 480,514 | 559,673 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円) | 495,830 | 786,287 | 363,323 |

| 回次 | 第58期 第2四半期連結 会計期間 | 第59期 第2四半期連結 会計期間 |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年 3月1日 至平成23年 5月31日 | 自平成24年 3月1日 至平成24年 5月31日 |
| 1株当たり四半期純損失金額() (円) | 7.90 | 0.23 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第58期第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第59期第2四半期連結累計期間及び第58期は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第58期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、株式会社岡山国際サーキットを連結子会社化しました。この結果、当社の関係会社は子会社が1社増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各セグメントに係る主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

<自動車部品事業>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

<配電盤事業>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

<ロボットシステム事業>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

<その他>

株式会社岡山国際サーキットの連結子会社化に伴い、新たにモータースポーツ事業に進出しました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から緩やかに持ち直しているものの、欧州の債務危機を背景に中国経済が減速感を強めたことに加え、長期化する円高や原油価格が上昇するなど、企業を取り巻く環境は、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高102億2,762万円（前年同四半期比39.8%増）、営業利益は2億2,955万円（前年同四半期は2,891万円の営業損失）、経常利益は2億7,555万円（前年同四半期比1,148.3%増）、四半期純利益は9,014万円（前年同四半期は1,410万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔自動車部品事業〕

震災等の影響により一時的に減少した生産量が回復基調へ転じた結果、当事業の売上高は71億1,737万円（前年同四半期比44.6%増）となりました。

〔配電盤事業〕

新規得意先への受注拡大を積極的に展開した結果、当事業の売上高は14億3,022万円（前年同四半期比76.7%増）となりました。

〔ロボットシステム事業〕

自動車部品メーカーの海外工場向けの自動化システムが好調に推移した結果、当事業の売上高は15億3,188万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

〔その他〕

新規得意先に対する受注活動を積極的に展開しましたが、当事業の売上高は1億4,814万円（前年同四半期比32.2%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ4億2,296万円増加し、7億8,628万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、8億1,376万円（前年同四半期は2億1,605万円の獲得）となりました。これは主に減価償却費によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、8億7,638万円（前年同四半期は2億1,567万円の使用）となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は4億8,051万円（前年同四半期は169万円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の純増によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は2,759万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 20,000,000 |
| 計 | 20,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年5月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成24年7月12日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 5,715,420 | 5,715,420 | 名古屋証券取引所(市場 第二部) | 単元株式数100株 |
| 計 | 5,715,420 | 5,715,420 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数 増減数(株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成24年3月1日～ 平成24年5月31日 | - | 5,715,420 | - | 903,842 | - | 901,555 |

(6) 【大株主の状況】

平成24年5月31日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|---|---|---------------|--------------------------------|
| 株式会社片山 | 名古屋市中区丸の内3 - 5 - 35 | 1,049 | 18.36 |
| 片山 敬勝 | 名古屋市天白区 | 613 | 10.74 |
| ニチアス株式会社 | 東京都港区芝大門1 - 1 - 26 | 598 | 10.47 |
| アスカ取引先持株会 | 愛知県刈谷市一里山町東吹戸11 | 520 | 9.10 |
| 株式会社三井住友銀行 | 東京都千代田区丸の内1 - 1 - 2 | 281 | 4.92 |
| アスカ社員持株会 | 愛知県刈谷市一里山町東吹戸11 | 233 | 4.09 |
| 株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社) | 東京都千代田区内幸町1 - 1 - 5 (東京都中央区晴海1 - 8 - 12) | 170 | 2.97 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内2 - 7 - 1 | 150 | 2.62 |
| 株式会社愛知銀行 | 名古屋市中区栄3 - 14 - 12 | 144 | 2.51 |
| 株式会社三重銀行 | 三重県四日市市西新地7 - 8 | 114 | 1.99 |
| 株式会社商工組合中央金庫 | 東京都中央区八重洲2 - 10 - 17 | 114 | 1.99 |
| 計 | - | 3,989 | 69.80 |

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年5月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 5,700 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 5,709,000 | 57,040 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 720 | - | - |
| 発行済株式総数 | 5,715,420 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 57,040 | - |

(注) 証券保管振替機構名義の株式5,000株は、完全議決権株式(その他)欄の株式数に含まれておりますが、同機構名義に係る議決権50個は、同欄の議決権の数には含まれておりません。

【自己株式等】

平成24年5月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|-------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| アスカ株式会社 | 愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地 | 5,700 | - | 5,700 | 0.10 |
| 計 | - | 5,700 | - | 5,700 | 0.10 |

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

| 新役職名 | 旧役職名 | 氏名 | 異動年月日 |
|------------------|------------------|-------|-----------|
| 取締役自動車部品事業部営業部長 | 取締役自動車部品事業部幸田工場長 | 奥山 和久 | 平成24年3月1日 |
| 取締役自動車部品事業部幸田工場長 | 取締役自動車部品事業部営業部長 | 片山 義浩 | 平成24年3月1日 |

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年12月1日から平成24年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 363,323 | 786,287 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,970,029 | 3,554,669 |
| 商品及び製品 | 96,250 | 92,323 |
| 仕掛品 | 1,077,796 | 847,146 |
| 原材料及び貯蔵品 | 299,139 | 288,676 |
| その他 | 655,155 | 789,523 |
| 貸倒引当金 | - | 470 |
| 流動資産合計 | 5,461,695 | 6,358,156 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,591,942 | 3,019,094 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,550,646 | 1,453,667 |
| 土地 | 3,689,395 | 3,719,920 |
| その他(純額) | 535,087 | 777,236 |
| 有形固定資産合計 | 8,367,070 | 8,969,918 |
| 無形固定資産 | 19,778 | 22,426 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,050,022 | 1,015,169 |
| その他 | 951,632 | 826,072 |
| 投資その他の資産合計 | 2,001,654 | 1,841,241 |
| 固定資産合計 | 10,388,504 | 10,833,587 |
| 資産合計 | 15,850,199 | 17,191,744 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,153,725 | 1,953,888 |
| 短期借入金 | 1,200,000 | 1,800,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,768,813 | 1,727,244 |
| 未払金 | 1,369,714 | 1,657,324 |
| 未払法人税等 | 10,518 | 28,658 |
| 賞与引当金 | 12,065 | 20,555 |
| その他 | 742,154 | 1,217,913 |
| 流動負債合計 | 7,256,991 | 8,405,583 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,594,714 | 3,533,858 |
| 退職給付引当金 | 510,633 | 520,557 |
| 役員退職慰労引当金 | 225,290 | 235,540 |
| その他 | - | 121,334 |
| 固定負債合計 | 4,330,638 | 4,411,290 |
| 負債合計 | 11,587,629 | 12,816,874 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 903,842 | 903,842 |
| 資本剰余金 | 901,555 | 901,555 |
| 利益剰余金 | 2,476,138 | 2,549,155 |
| 自己株式 | 3,505 | 3,505 |
| 株主資本合計 | 4,278,030 | 4,351,048 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15,460 | 23,821 |
| その他の包括利益累計額合計 | 15,460 | 23,821 |
| 純資産合計 | 4,262,569 | 4,374,869 |
| 負債純資産合計 | 15,850,199 | 17,191,744 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日) |
|-------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 7,314,146 | 10,227,622 |
| 売上原価 | 6,831,670 | 9,328,183 |
| 売上総利益 | 482,476 | 899,439 |
| 販売費及び一般管理費 | 511,390 | 669,885 |
| 営業利益又は営業損失() | 28,913 | 229,553 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 110 | 312 |
| 受取配当金 | 12,343 | 9,893 |
| 助成金収入 | 70,153 | 25,394 |
| 受取地代家賃 | 8,693 | 28,826 |
| その他 | 5,973 | 9,333 |
| 営業外収益合計 | 97,273 | 73,759 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 29,660 | 25,681 |
| その他 | 16,624 | 2,077 |
| 営業外費用合計 | 46,285 | 27,758 |
| 経常利益 | 22,074 | 275,554 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 258 | - |
| 投資有価証券売却益 | 12,009 | - |
| 特別利益合計 | 12,268 | - |
| 特別損失 | | |
| 前期損益修正損 | 23,719 | - |
| 固定資産除却損 | 24,133 | - |
| 投資有価証券売却損 | - | 4,906 |
| 投資有価証券評価損 | - | 28,298 |
| その他 | 4,120 | - |
| 特別損失合計 | 51,973 | 33,204 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 17,629 | 242,350 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 13,846 | 20,409 |
| 法人税等調整額 | 17,371 | 131,793 |
| 法人税等合計 | 3,524 | 152,203 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失() | 14,105 | 90,146 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 14,105 | 90,146 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日) |
|---|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失() | 14,105 | 90,146 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 62,820 | 39,282 |
| その他の包括利益合計 | 62,820 | 39,282 |
| 四半期包括利益 | 76,925 | 129,428 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 76,925 | 129,428 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 17,629 | 242,350 |
| 減価償却費 | 432,278 | 364,841 |
| のれん償却額 | - | 74,665 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 258 | - |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 5,723 | 8,489 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | - | 10,250 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 17,680 | 2,800 |
| 投資有価証券評価損益(は益) | - | 28,298 |
| デリバティブ評価損益(は益) | 8,690 | 2,648 |
| 受取利息及び受取配当金 | 12,453 | 10,205 |
| 支払利息 | 29,660 | 25,681 |
| 固定資産除売却損益(は益) | 24,133 | 295 |
| 投資有価証券売却損益(は益) | 12,009 | 4,906 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 1,054,180 | 482,907 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 9,257 | 253,155 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 942,424 | 218,235 |
| 未払金の増減額(は減少) | 419,823 | 227,561 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 65,810 | 62,714 |
| その他 | 176,520 | 243,672 |
| 小計 | 240,906 | 830,085 |
| 利息及び配当金の受取額 | 14,159 | 10,943 |
| 利息の支払額 | 29,225 | 25,885 |
| 法人税等の支払額 | 14,655 | 9,681 |
| 法人税等の還付額 | 4,868 | 8,304 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 216,052 | 813,766 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 268,888 | 270,779 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 4,834 | - |
| 投資有価証券の取得による支出 | - | 29,245 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 12,009 | 84,996 |
| 貸付けによる支出 | 600 | 32,750 |
| 貸付金の回収による収入 | 3,546 | 1,952 |
| 差入保証金の回収による収入 | 44,000 | - |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | - | 626,013 |
| その他の支出 | 4,947 | 4,646 |
| その他の収入 | 4,036 | 100 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 215,677 | 876,385 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | - | 600,000 |
| 長期借入れによる収入 | 1,200,000 | 900,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 1,152,685 | 1,002,425 |
| 配当金の支払額 | 45,619 | 17,060 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,695 | 480,514 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 4,324 | 5,067 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 2,253 | 422,963 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 498,084 | 363,323 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 495,830 | 786,287 |

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年12月1日
至平成24年5月31日)

連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、株式会社岡山国際サーキットの株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。なお、平成24年5月31日をみなし取得日としたため、当第2四半期連結累計期間は、貸借対照表のみを連結しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年12月1日
至平成24年5月31日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

| 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日) |
|--|--|
| 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 | 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。 |
| (千円) | (千円) |
| 荷造運搬費 177,400 | 荷造運搬費 222,180 |
| 役員報酬 50,050 | 役員報酬 82,572 |
| 給料及び手当 80,971 | 給料及び手当 84,287 |
| 賞与引当金繰入額 923 | 賞与引当金繰入額 2,425 |
| 退職給付費用 2,983 | 退職給付費用 3,941 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 - | 役員退職慰労引当金繰入額 10,250 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日) |
|--|--|
| 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年5月31日現在) (千円) | 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年5月31日現在) (千円) |
| 現金及び預金勘定 495,830 | 現金及び預金勘定 786,287 |
| 現金及び現金同等物 495,830 | 現金及び現金同等物 786,287 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年5月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 平成23年2月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 45,677 | 8 | 平成22年11月30日 | 平成23年2月23日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 平成24年2月21日 定時株主総会 | 普通株式 | 17,129 | 3 | 平成23年11月30日 | 平成24年2月22日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|-------------|---------|----------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 自動車部品 事業 | 配電盤事業 | ロボットシ ステム事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,922,465 | 809,269 | 1,363,986 | 7,095,721 | 218,425 | 7,314,146 | - | 7,314,146 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 3,247 | 96,305 | 72,371 | 171,924 | 1,946 | 173,871 | 173,871 | - |
| 計 | 4,925,713 | 905,574 | 1,436,357 | 7,267,645 | 220,372 | 7,488,018 | 173,871 | 7,314,146 |
| セグメント利益 又は損失() | 173,749 | 24,822 | 115,894 | 82,676 | 51,692 | 30,983 | 2,070 | 28,913 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材教育及び研修事業であります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額2,070千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|-------------|-----------|----------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 自動車部品 事業 | 配電盤事業 | ロボットシ ステム事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,117,378 | 1,430,222 | 1,531,881 | 10,079,481 | 148,141 | 10,227,622 | - | 10,227,622 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,316 | 23,846 | 101,227 | 126,390 | 2,632 | 129,023 | 129,023 | - |
| 計 | 7,118,694 | 1,454,068 | 1,633,109 | 10,205,872 | 150,773 | 10,356,645 | 129,023 | 10,227,622 |
| セグメント利益 又は損失() | 20,372 | 104,236 | 142,719 | 267,327 | 39,844 | 227,483 | 2,070 | 229,553 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材教育及び研修事業並びにモータースポーツ事業であります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額2,070千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、株式会社岡山国際サーキットを新たに連結子会社としたことにより、「その他」においてのれんが74,665千円発生し、発生時に全額償却しております。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社岡山国際サーキット

事業の内容 モータースポーツ事業

(2) 企業結合を行った理由

産業の空洞化が進んでいることから、為替の影響を受けにくい事業に参入すること並びに既存事業における自動車関連企業への受注活動や商品開発の展開を目的としております。

(3) 企業結合日 平成24年3月28日

(4) 企業結合の法的形式 現金対価による株式取得

(5) 取得した議決権比率 100%

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠 当社による現金を対価とする株式取得であるため。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成24年5月31日をみなし取得日としたため、当第2四半期連結累計期間は、貸借対照表のみを連結しております。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

| | | |
|------------|-----------|-----------|
| 取得の対価 | 現金 | 650,000千円 |
| 取得に直接要した費用 | アドバイザー費用等 | 26,000千円 |
| 取得原価 | | 676,000千円 |

なお、被取得企業の株式とともに同社に対する貸付金を取得しており、上記金額にはその対価を含んでおります。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法、及び償却期間

(1) 発生したのれん金額 74,665千円

(2) 発生原因 取得原価が被取得企業の純資産における当社持分を上回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

(3) 償却方法及び償却期間 重要性がないため、発生時に全額償却しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日) |
|--------------------------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期 純損失金額() | 2円47銭 | 15円79銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円) | 14,105 | 90,146 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損 失金額()(千円) | 14,105 | 90,146 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 5,709,684 | 5,709,684 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、平成24年6月28日開催の取締役会において、子会社を設立することを決議いたしました。

1. 子会社設立の目的

日系自動車メーカーの現地生産化により、自動車部品需要の増加が期待されるアセアン地域における生産体制の構築を図るため、インドネシアに子会社を設立することを決定いたしました。

2. 子会社の概要

- (1) 会社名 PT. AUTO ASKA INDONESIA
- (2) 所在地 インドネシア共和国 西ジャワ州カラワン県スルヤチプタ工業団地
- (3) 事業内容 自動車部品の製造、販売
- (4) 資本金 800万USドル
- (5) 出資比率 99%(予定)
- (6) 設立 平成24年7月(予定)

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 7月11日

アスカ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水野 裕之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 隆行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアスカ株式会社の平成23年12月1日から平成24年11月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年12月1日から平成24年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アスカ株式会社及び連結子会社の平成24年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲には、X B R L データ自体は含まれておりません。